

Information

・情報お待ちしております・

告知したいイベント、セミナーなど編集室にお寄せください。
開催日の約2か月前にファクス、郵送、e-mail などでお送りいただけると幸いです。
採否は掲載をもってかえさせていただきます。
〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 医学書院「助産雑誌」編集室
FAX 03-5804-0485 E-mail joson@igaku-shoin.co.jp

日本赤十字社助産師学校 同窓会(松契会)講演会

●日時

9月28日(土)13:30~15:30

●会場

日本赤十字社助産師学校 603号室
(東京都渋谷区広尾 4-1-22)

●プログラム

講演「愛着形成の支援～助産師ができること～」関真由美(臨床心理士)／座長 本野純子

●参加費

会員 1500円、一般 2000円、学生 500円

●申し込み・問い合わせ先

日本赤十字社助産師学校
教務担当：加瀬
E-mail joson-kyomu3@med.jrc.or.jp

第37回スタッフ育成・ 管理担当者研修会

●日時

10月11日(金)9:15~
12日(土)16:45

●会場

自治医科大学地域医療情報研修センター(自治医科大学構内施設、
栃木県下野市薬師寺 3311-160)

●受講料

1万8000円

●テーマ

スタッフ育成のためのコーチング
とティーチング

●ねらい

看護管理者をはじめとする保健医療分野の管理者・教育担当者として
コーチングとティーチングの実践を学び、
スタッフ育成に向けて柔軟で効果的なかわりができる能力を身につける。
研修者の所属部署における効果的なスタッフ指導について理解することができる。

●対象者

看護単位の責任者とその任にあたる者、
および看護単位でスタッフ育成の任にあたる者。
関連職種の単位の責任者とその任にあたる者、
および関連職種の単位でスタッフ育成の任にあたる者。

●内容

①スタッフ育成のためのコーチング、
②スタッフ育成のためのティーチング

●申し込み方法

専用の受講申込書にもれなく記入のうえ、
郵送にて申し込みください。
受講申込書は当財団ホームページからダウンロードできます。

●締め切り

9月20日(金)

●申し込み・問い合わせ先

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-160

(公財)地域社会振興財団事務局研修課

TEL 0285-58-7436 FAX 0285-44-7839

E-mail fdc@jichi.ac.jp

URL <http://www.zcssz.or.jp/>

第29回日本分娩研究会 プログラム(案)

●日時

10月3日(木)12:00~17:25

●会場

大宮ソニックシティ 小ホール
(埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5)

●内容

教育講演「助産師が行う分娩進行のアセスメント」講師：斉藤益子
(東邦大学医学部看護学科)

ワークショップ「ハイリスク妊婦と助産師の役割」

会長講演「埼玉県に於ける母体搬送の現状について——コーディネーターシステムに関わる助産師の働き——」柏崎研(かしわざき産婦人科 院長)

教育講演「痛みのない分娩」照井克生(埼玉医科大学総合医療センター 産科・麻酔科)

教育講演「骨盤スリム化——安産型が減る——」杉村 基(浜松医科大学産婦人科家庭医療学講座)

教育講演「分娩体位から見た介助法」中根直子(日本赤十字社医療センター・周産母子センター)

●問い合わせ先

事務局代行 株式会社 M's 企画(松崎)

TEL 03-6868-3704 FAX 03-6868-6021

E-mail m-kikaku.matsuzaki@mint.ocn.ne.jp

しょうじ
「生死學 生まれくる人・
死にゆく人」in 信州八ヶ岳
第1回「草原の中で、生まれくる
人・死にゆく人に思いを馳せる」

●日程

10月12日(土)～14日(月・祝)

●プログラム

「死に方を忘れた日本人」信友浩一(九州大学名誉教授、(株)信友ムラ事務所代表取締役)

「生まれくる人々～お産の向こう側」大牟田智子(福岡県春日助産院長)
「いのちを見守り、母性を輝かせる～助産師の仕事」鹿野恵美(長野県明生助産所長)

「自宅で生まれる、助産院で生まれる」小林由枝(長野県野ノ花助産院長)

「語り場『私の感じてきたいのちとは』」齋藤麻紀子(umiのいえ主宰)
「生死學概論」菊地栄(出産育児環境研究会代表)

ほか、講師レクチャー、語り合い、温泉、出会い、新鮮な食材料理、キャンプファイヤーなど。

●会場

ペンション SOUGENYA

(長野県茅野市玉川 11400-1356)

●参加費

3万8000円(2泊3日 宿泊5食2温泉含む)

2日目のみ参加1万円(宿泊・食事・温泉別料金)

※1泊参加、1日のみ参加なども受付可。ご相談ください。

●定員

15名

●申し込み方法

メールまたはFAXにて、氏名、メールアドレス、電話番号、所属、住所、アクセス方法(車・電車・バス他)、その他ご希望事項を明記のうえ、お申込みください。

●申し込み・問い合わせ先

出産育児環境研究会 菊地栄

✉ nagil0sk@yahoo.co.jp

☎ & ☎ 0266-55-2540

専門家向けセミナー

「妊娠中の食育

～妊婦・産婦さんに食べて
貰いたい食事の勧め方～」

●開催日

【秋～冬の食材編】

10月12日(土)：妊娠前期の食事
(前期にお勧め食材と季節の食材)

11月9日(土)：妊娠後期の食事
(後期にお勧め食材と季節の食材)

12月14日(土)：母乳のための食事と対策

【冬～春の食材編】

2014年1月11日(土)：妊娠前期の食事(前期にお勧め食材と季節の食材)

2月8日(土)：妊娠後期の食事
(後期にお勧め食材と季節の食材)

4月12日(土)：母乳のための食事と対策

●開催時間

13:30～17:00

●参加費

1回：6000円(食事付き・材料費込み)

3回講座割引：1万5000円

●会場

申し込みの方に通知(東京メトロ赤坂駅下車または青山一丁目駅下車)

●対象

助産師・保健師・栄養士・看護師・マタニティ関連の専門家

●講師

小野田レイ(マタニティー・アドバイザー、日本健康教育士、国際中医薬膳師・国際中医師)

●申し込み方法

「妊娠中の食育講座希望」と明記

のうえ、氏名・住所・電話番号・携帯メールアドレス・職業を、メールまたは電話でお申込みください。

●申し込み・問い合わせ先

エンパワーメントバースクラブ
小野田レイ

☎ 03-3631-8208

URL <http://www.empowerbc.com/>(携帯からも可)

✉ empowerbc@nifty.com(携帯からも可)

日本助産師会出版セミナー

【母乳ケア支援セミナー〈乳頭トラブル編〉】

●日時

10月19日(土)13:00～17:00

●講師

宮下美代子(みやした助産院長)

●受講料

1万500円

【事例から読み解くCTGの判読と対応】

●日時

11月16日(土)13:00～17:00

●講師

池田智明(三重大大学医学部産婦人科教室教授)

●受講料

1万500円

[以下、共通]

●会場

日本助産師会 2階セミナールーム(東京都台東区鳥越2-12-2)

●申し込み方法

(株)日本助産師会出版ホームページの申し込みフォームから。あるいは、メールまたはファックスで、セミナー名、氏名、メールアドレス、郵便番号、住所、電話番号、連絡先(携帯電話、メールなど必ず昼間に連絡の取れるところ)、勤務先名、日本助産師会会

員の場合は会員番号をお書きのうえ、申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先

日本助産師会出版

☎ 03-6915-3316 FAX 03-6915-3318

✉ shuppan@midwife.co.jp

第15回「母乳育児支援を学ぶ北陸教室」in 富山

●日時

10月26日(土)9:45~16:30

●会場

富山県民共生センターサンフォルテ(富山県富山市湊入船町6-7)

●プログラム

「赤ちゃんから見た早期接触の意義を考える——早期接触の新しい話題とWidströmの9つのステージ」奥起久子(新生児科医, IBCLC)

「生殖補助医療と母乳育児」桑間直志(産婦人科医, IBCLC)

「NICU退院前後の母乳育児支援——低出生体重児が“breastfeeding”で退院するために」奥起久子(新生児科医, IBCLC)

「NICU退院後の地域での母乳育児支援」小泉恵子(助産師, IBCLC)

●継続教育単位

5.0 L-CERPs

●参加費

事前振込4500円, 当日参加5500円, 学生2000円(事前申し込み不要。当日学生書提示参加費支払い)

●申し込み方法

件名を「第15回学習会申し込み」として, 下記のメールかFAXで。10月11日(金)締め切り。

氏名(必ずふりがな, ローマ字表記を併記), 住所, 電話番号, FAX番号, メールアドレス, 勤務先, 職種を記入(代表で複数名申し込みの場合も, お1人ずつの情報に記載)。

●有料託児

お子様お1人につき3000円。要申し込み。10月6日(金)締め切り。

●問い合わせ先

乙崎, 杉井

✉ hokurikubonyuu@yahoo.co.jp

FAX 0765-74-0428

URL <http://jalc-net.jp/>

REBORN 20周年記念イベント

●日時

11月3日(日・祝日)

13:00~16:30

●会場

日本赤十字看護大学201講義室(東京都渋谷区広尾4-1-3)

●参加費

1500円

●プログラム

フォトスライドショー, DVD上映「みんなのお産」, DVD上映「にっぽんのお産」ダイジェスト版, REBORNスタッフおよびゆかりの人々によるリレー・スピーチ。懇親会の予定あり。

●申し込み方法

名前, 連絡先, 所属をお書きのうえ, メールもしくはFAXでお申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先

REBORN

✉ reborn@web-reborn.com(PC着信拒否の方は解除をお願いします)

FAX 045-382-8185

第10回日本周産期メンタルヘルス研究会学術集会

●日時

学術集会/11月9日(土)

10:00~17:00

研修会/11月10日(日)

9:30~11:30

●会場

日本赤十字看護大学201講義室(東京都渋谷区広尾4-1-3)

●テーマ

現代女性の妊娠から子育てとメンタルヘルス

【学術集会】

特別講演「就労女性のこころとからだ」荒木葉子(荒木労働衛生コンサルタント事務所 所長)教育講演「女性の妊娠性と不妊治療の現状と問題点」辰巳賢一(梅ヶ丘産婦人科院長)

シンポジウム「リプロダクティブエイジ女性のメンタルヘルス支援を考える」

佐々木司(東京大学大学院教育学研究科健康教育学分野教授)/河合蘭(出産ジャーナリスト)/永田雅子(名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター准教授)/萩原玲子(武蔵野大学附属産後ケアセンター桜新町センター長)

【研修会】

「若い女性/妊娠期にある女性の摂食障害」西園マーハ文(白梅学園大学子ども学部発達臨床学科教授)

●一般演題を募集

締め切り9月末。演題募集の詳細はホームページにてご確認ください。

●参加費

【学術集会】研究会会員3000円, 臨時会員4000円, 学部・大学院学生1000円

【研修会】研究会会員3000円, 臨時会員4000円

●申し込み先

日本周産期メンタルヘルス研究会事務局 安川通子

FAX 059-231-9049

✉ mental-3@hac.mie-u.ac.jp

URL <http://pmh.jp/index.html>